



株主の皆様へ
第60期 通期
2018年9月1日 ▶
▶ 2019年8月31日

会社の概要 Corporate Profile

■会社概要 会社名 ミクロン精密株式会社
住所 山形県山形市蔵王上野578番地の2
資本金 6億5,137万円
売上高 67億5,994万円(連結)
決算日 8月31日
従業員数 246名(連結)

(インターネットURL) <http://www.micron-grinder.co.jp/>
(フェイスブックURL) <https://www.facebook.com/micronmachinery/>

■本社 〒990-2303 山形市蔵王上野578-2 Tel: (023) 688-8111 Fax: (023) 688-7115	■東京営業所 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 八幡日本橋小網町ビル5F Tel: (03) 3667-2201 Fax: (03) 3667-9412	■Micron-U.S.A., Inc. 5150 Falcon View Avenue S.E., Kentwood, MI 49512 U.S.A. Tel: (616) 942-2007 Fax: (616) 942-4152 http://www.micronusa.com	■みはらし工場 〒999-3107 山形県上山市みはらしの丘20-1 Tel: (023) 695-8125 Fax: (023) 695-5211	■中部サテライト(名古屋営業所) 〒480-1114 愛知県長久手市長配3-611 Tel: (0561) 64-2411 Fax: (0561) 64-2416	■Micron Machinery (Thailand) Co., Ltd. No. 641/1, Srinagarindra Rd., Suan Luang Sub-dist., Suan Luang Dist., Bangkok 10250 Thailand Tel: (02) 321-5686 Fax: (02) 321-5688
--	--	---	--	---	--

株主の皆様へ Message to Our Shareholders



代表取締役社長
榑原 憲二

平素は、当社の事業運営に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。以下に、当社グループの業績をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策等により企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、通商問題の動向や中国経済の減速、消費税率の引き上げに伴う消費動向への影響等、先行きが不透明な状況で推移しました。

当工作機械業界におきましては、米中貿易摩擦により内外需とも設備投資に対して慎重姿勢が増し、受注高が前月比、前年同月比ともに減少した月もみられ、力強さに欠ける状況で推移しました。

このような経営環境の中におきまして、当社グループ(当社及び連結子会社)は、積極的な販売展開の強化を図ると

役員 (2019年11月22日現在)

代表取締役社長 榑原 憲二	取締役 山口 仁志
常務取締役 吉野 靖	社外取締役 押野 正徳
取締役 榑原 誠	常勤監査役 山口 洋子
取締役 善本 淳一	社外監査役 今田 隆美
取締役 遠藤 正明	社外監査役 鈴木 辰雄
取締役 大宮 正則	

※前取締役の寒河江茂兵衛は技術顧問に就任いたしました。

もに、市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行いながら、全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりました。

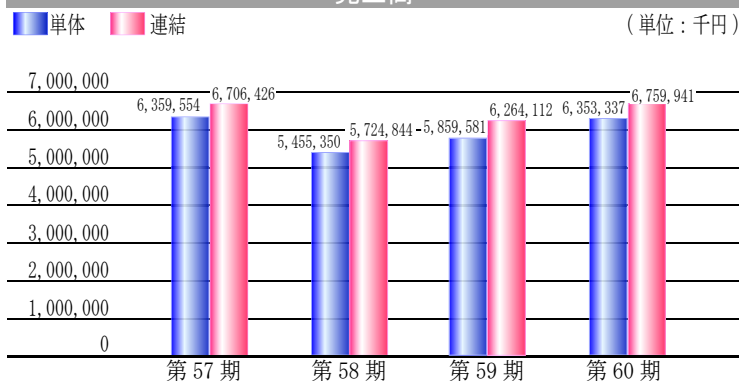
この結果、当連結会計年度の売上高につきましては、6,759百万円(前期比7.9%増)となりました。利益につきましては、営業利益で1,003百万円(前期比4.1%増)となりましたが、円高による為替差損172百万円が発生したため、経常利益で1,014百万円(前期比6.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益では660百万円(前期比11.5%減)となりました。なお、当社グループの事業は、研削盤の単一セグメントであります。

当社グループの業績は上述のとおりとなりましたが、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

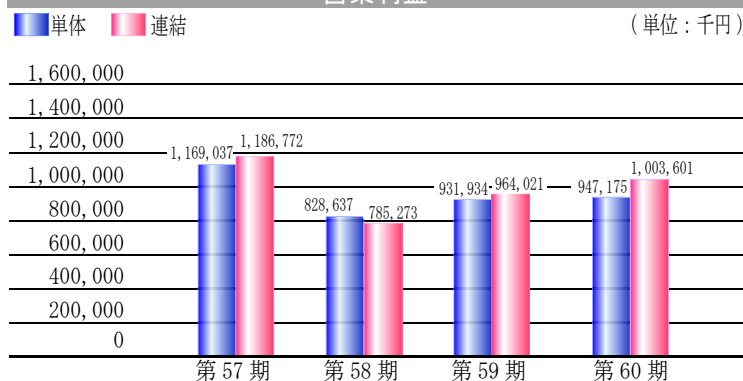
2019年11月

財務ハイライト Financial Highlights

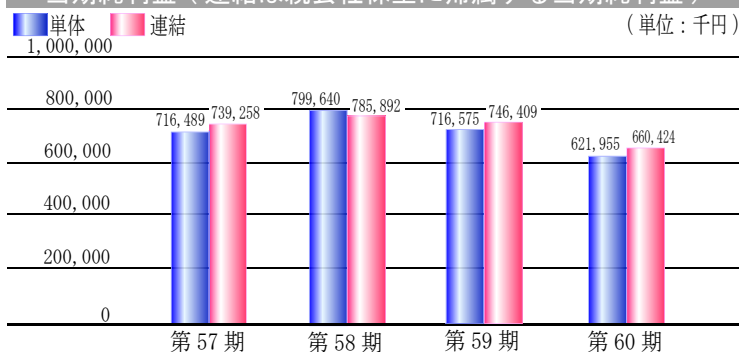
売上高



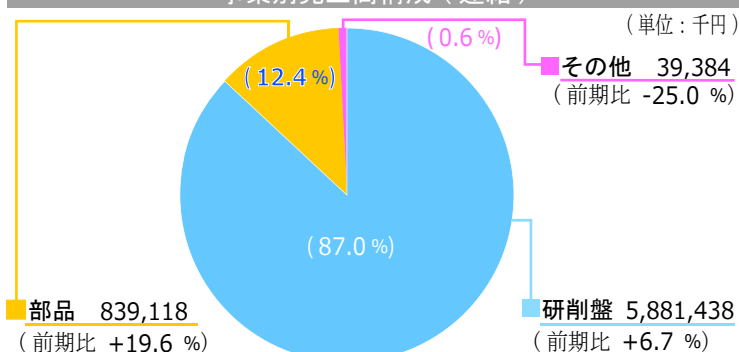
営業利益



当期純利益 (連結は親会社株主に帰属する当期純利益)



事業別売上高構成 (連結)



株式の状況 (2019年8月31日現在)

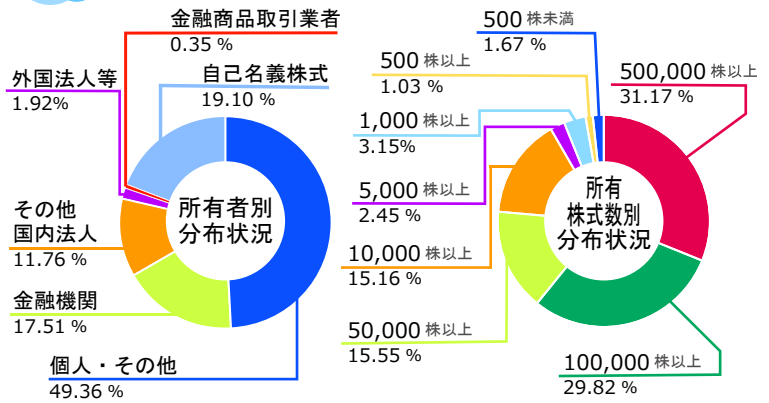
■発行可能株式総数 27,000,000株
 ■発行済株式の総数 7,706,100株
 ■株主数 1,071名

■主要な株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ミクロン精密社員持株会	930,210株	14.92%
榑原憲二	299,870株	4.81%
株式会社山形銀行	285,000株	4.57%
株式会社きらやか銀行	270,000株	4.33%
ミクロン精密取引先持株会	258,700株	4.15%
小松貞生	256,500株	4.11%
日本生命保険相互会社	228,000株	3.66%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	168,900株	2.71%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	154,725株	2.48%
J. P. MORGAN SECURITIES PLC	142,309株	2.28%

(注) 当社は、自己株式 1,471,605株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 なお、自己株式には、取締役向け株式交付信託保有の当社株式(110,000株)及び社員向け株式交付信託保有の当社株式(44,725株)を含めておりません。

株式の分布状態 (2019年8月31日現在)



~ Micron Machinery (Thailand) Co., Ltd. 研修旅行 in JAPAN ~

■2019年4月、Micron Machinery (Thailand) Co., LTD. (以下MMT) のタイ人社員4名が研修旅行で日本を訪問しました。4月にしては珍しく降雪があり、生まれて初めて雪を見た彼らを喜ばせていました。研修では、機械がベッドから組付けられる工程や、スピンドルなどの重要部品が大型機械で加工される様子など、MMTでは普段目にする事ができない製造工程を一から見学して、経営理念である『蔵王から世界へ』の出発点を目にし、各自興味津々の様子で、ものづくりと自社製品への理解を深めることができました。

また、ともに働く仲間として、一人一人勉強してきた日本語により、明るく時にユーモアを交えた自己紹介を披露し、私たちを笑顔にさせてくれました。

その後、一行は京都観光で桜を見ることも叶い、無事に帰国の途につきました。研修後の彼らからは、ミクロン精密の技術や文化、そして日本という国を肌で感じて学んだことを原動力にし、着実に成長を重ねる頼もしい姿がうかがえます。私たちにとっても、顔を合わせたコミュニケーションが実現し、相互の理解が一層進んだと実感しています。これからも両社で発展できるように、お互いを高め合い、成長を続けてまいります。

当社の海外子会社はアメリカとタイの2社ですが、世界30ヶ国以上に納入した機械のアフターサービスを、日本を含めた各拠点から真摯に対応してまいります。



はじめての雪に大興奮



MMTタイ人社員

トピックス Topics

~ MICRON-U. S. A., Inc. 創立30周年記念式典 ~

■昨年2018年にMicron-U. S. A., Inc. (以下MUSA) は、創立30周年を迎えることができました。

初夏の風も爽やかな2019年6月、現地米国でお客様、取引先様約70名を迎えて記念式典が盛大に行われました。

列席者を代表して Ms. Sheila Pachulski (MUSA設立当時の合併パートナー P. T. I. 代表 Mr. Phil Pachulski 夫人) は、「Micronと初めて会った時、夫は『探していたセンタレスグラインダの最高のメーカーを見つけた』と喜んで帰ってきた。その後、Bara-san (故・榑原忠雄会長) との関係は、お互いの深い理解と強い信頼関係により特別なものとなった。二人は会社の将来について明確なビジョンを持ち、社員の幸せのために苦勞を厭わない経営者であった。ここにいないBara-sanの魂に乾杯」と祝辞を述べられました。

続いてNN Inc. Autocam Precision副社長のMr. Edward Hekmanより「1986年にIMTSのMazakのブースでMicronのワークサンプルを見た時は衝撃だった。これこそまさに自分たちが探し求めていたもので、興奮してPhilを呼びに行ったのを鮮明に覚えている。Micronとこれほどまでに付き合ってきたのは、Micronが常に納期を守り、約束以上の精度・能率を発揮し、納入後のサービス体制も最高のものであるから。これからは共に発展して行きたい」とのお言葉をいただきました。

最後に社長の榑原は「33年前にゼロからスタートし、今日社員10名、米国への累積納入台数500台を超えるまでに成長できたのは、ひとえに強固な信頼関係とAutocamをはじめとするお客様に恵まれたことに尽きる。『これほど成功した合併企業は見たことがない』とよく言われてきた。この会社は日米二つの文化の融合した和が強みであり、日々それを実現している社員が特別な存在である。今、大きな転換点でチャレンジのとき。『お客様に最高の研削技術を提供する』を信条に、次の30年に向けてさらに成長して行きたい」と挨拶し、合併契約を結んだ際の写真を前に鏡開きを行い、今後のさらなる発展を願いました。

これまで、皆様の支えのもと30年歩み続けてこられたことに感謝し、これからはお客様と共に飛躍し続けてまいります。



鏡開きで発展を祈願

事業の紹介 Introduction of business

~ 医療機器の品質マネジメントシステム ~ 国際規格「ISO 13485」認証取得

■当社は超音波を用いて骨の手術を行う機器の研究開発を進めており、メディカル事業部の認証取得は事業化に向けた準備の一環としています。



株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月開催
基準日	定時株主総会 毎年8月31日 期末配当 毎年8月31日 中間配当 毎年2月末日

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、右の電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(7-7471)0120-782-031

(郵便物送付先)

(電話照会先)

(インターネットURL)

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>